

グループホームなごみ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑤ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念を休憩室や玄関に掲示し、常に確認できるようにしている。 職員は基本理念を軸に意識を統一して理念に基づくケアの実践に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ⑤ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小学生の下校に合わせて、見守り活動を利用者と共に行っている。また、中学生の『14歳の挑戦』にも参加している。 地下清掃などの地域の活動にも積極的に参加している。	地元小学生の『14歳の挑戦』や地域活動の地下清掃にも取り組んでいる。 その他に地域住民の活動の場として[なごみサロン]の提供も行っており、積極的に交流の機会を設けている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月ごとに開催し、利用者の日々の状況や活動、課題報告を行っている。参加者それぞれの立場から意見を出していただき、話し合いを行っている。会議でいただいた意見や要望は検討し、改善に努めている。 また、地域との交流に関する行事の情報収集もさせてもらっている。	運営推進会議は地域の方々・地域包括支援センターの職員・家族代表が出席して、同事業所の小規模多機能ホームと一緒に2ヶ月ごとに開催している。会議では利用者の生活報告や今後の課題報告し意見交換を行っている。また、地域交流の場を増やそうと、情報収集にも努めている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市介護相談員が来所時に、施設の活動状況を見てもらい意見感想を頂いている。頂いた意見等は、介護支援に生かすように取り組んでいる。 また、分からないところがあった場合は、地域包括支援センターに相談している。	地域包括支援センターとは、いつでも相談・助言をいただく協力関係を築いている。 市介護相談員が来所時は、利用者の活動状況などを見てもらい、意見などをいただいている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	⑤ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年4回の『身体拘束適正化委員会』の開催や年2回の研修を開催し、全職員への理解、意識づけを行っている。 日頃より『身体拘束は何か』と考えながら、身体拘束のない介護に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	⑤ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年4回の『虐待防止委員会』の開催し、全職員で理解を進め、虐待防止に努めている。また、職員が疲弊しないようにも配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者で成年後見制度を利用されている方がいる。先方との関わりの中で、主として管理者が連携を取っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約または改定等の際には、内容を説明し、家族の同意の上行っている。利用者や家族からの不安や疑問には具体的に答えられるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や SNS で家族からの要望や意見を伺っている。 玄関前に『ご意見箱』を設置し、言っていただけ環境作りに努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月 1 回のカンファレンスや勉強会の中で、職員間で話し合う機会を設けている。職員とは、日常的に相談しやすい風通りの良い環境づくりを心がけている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の努力や勤務状況について把握して、その都度向上心を持って働けるように声掛けをして、評価するように努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実態と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のケアの経験や技術の向上を目的として、2 か月 1 回の法人研修を実施している。また、外部研修にも積極的に参加し、研修内容を他の職員と共有することで施設全体の知識や技術の向上に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡協議会などに参加し、意見交換を通じてサービスの質の向上に努めている。 法人研修の中で、職員間で話し合う機会を設けている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の主役は、利用者であることを忘れずに、出来ることを大切に、洗濯物たたみや調理・配膳等を行い、役割を大切にしている。 また、利用者との日常生活の中で『生活の知恵』を教えてもらう事も多くある。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の感染状況を注視しながら、お墓参りなどの外出を再開している。また、家族・知人との面会も行っている。	感染症の感染状況を注視しながら、家族の協力を得て、お盆のお墓参りや食事などの外出をして、馴染みの方々との交流の場を持っていたい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活を通じて得られた些細な言葉や言動から思いや意向を感じ、職員間で情報を共有して、利用者の希望している生活に少しでも近づけるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は利用者の望む生活、生き方を柱に作成している。毎月1回のカンファレンスでは、利用者一人ひとりの状態を把握し、意見交換を行い、ケアの見直しや統一を行っている。また、状況の変化に合わせて定期外でも話し合いを行い、介護計画を見直し、職員間で共有している。	介護計画は収集した利用者の意思や意向を踏まえ、月1回のカンファレンスや日頃の介護記録で検討し見直しを行っている。見直した計画内容は家族に説明し、さらなる意見や要望を聞き取り計画に反映している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の変化や些細な気づきを見逃さず記録し、職員間で共有する。また、必要に応じて話し合いを行い、介護計画の見直しを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との外出等や、本人の希望による買い物等の外出の支援や利用者のニーズの変化にも、柔軟に支援ができるように努めている。	日頃より利用者との会話の中から出るニーズや家族から得られるニーズを大切にし、その時々ニーズに柔軟かつ迅速に支援ができるように努めている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の清掃活動や小学生の見守り活動を通じて、生きがいや社会での役割を感じながら豊かな暮らしをできるように支援している。	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握するように努め、本人が心身の力を発揮できるように支援している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族の希望を優先し、入居前のかかりつけ医の継続も可能としている。受診時には日ごろの利用者の状態を報告し、指示を受ける。状態変化があれば、速やかに報告している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者が入院した際、事業所から普段の心身状況を伝えている。また、入院中の経過や退院に向けての連絡を密に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者が重度化の兆しが見られたときに、家族と話し場を設けている。終末期については、入居時に『重症化した看取り指針』の説明を行い、事業所が対応しうるケアについて説明している。『看取り』の希望があれば対応していきたい。(事例なし)		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	緊急時マニュアルを設置している。利用者の事故や急変時には慌てず適切な行動がとれるよう定期的に緊急対応の講習を開催している。今年度は『心肺蘇生法』について、法人研修を行った。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練を実施している。また、施設は、福祉避難所として富士山市に登録されており、地域の避難場所となっている。BCP(事業継続計画)は作成済みです。定期的に研修を行い、BCPの修正や見直しを行っている。	屋、夜を想定した火災避難訓練を年2回実施している。また、地震や水害などを想定した防災訓練も年1回実施している。BCPについても見直しや勉強会を実施し、もしもの場合に備えている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月1回のカンファレンスで利用者一人ひとりの接遇方法を話し合っている。個人情報の取り扱いに注意している。人格を尊重し、尊厳に配慮した対応に心掛けている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基本的な1日の流れはあるが、利用者の入居前の生活の流れを尊重し、一人ひとりのペースや体調・意向に合わせて生活できるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員と一緒に味噌汁の準備を行い、配膳や下膳の手伝いも行っている。また、季節に合わせたおやつ作りを一緒に楽しんでいる。利用者一人ひとりのペースに合わせた食事環境にも努めている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事量や水分量は毎食チェックしており、食欲低下や体重減少に注意を払っている。利用者の状態に合わせて臨機応変に食事形態や水分提供を工夫している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	いつまでも美味しく食べられるように歯の健康に努めている。毎食後の口腔ケアを推進し、一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。また、職員の知識・技術向上のため、定期的に歯科医師からの研修を行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握し、水分・運動に心がけ自然な排便につながるよう支援している。また、必要時には、主治医に相談し対応する。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々のADLに合わせた浴槽の種類を検討している。また、体調不良などで入浴の難しい利用者には清拭などの支援に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣に合わせて、自由に休息されたり、テレビを観たりできるように、フロア内に複数ソファを置き、居室以外にもくつろげられるように心がけている。夜間は、居室で良眠できるように室温や明るさ、寝具に配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬剤情報をすぐに確認できるようにファイリングし、全職員で共有できるようにしている。また、処方の変更があった場合などは観察記録を密にして主治医に報告している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴を把握し、趣味や得意なこと・興味のあることを生かし、毎日張り合いのある生活ができるように支援している。コップ洗いや掃除を積極的に取り組んで下さっています。	一人ひとりの出来る範囲に合わせて、家事作業や趣味などが行えるように支援している。また、野菜作りを、苗の購入から収穫まで利用者と協力して取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	天候に合わせて外周散歩なども日常的に取り組んでいる。また、四季折々の花見にも外出を企画している。本人や家族の希望を伺った時は実現できるように支援に努めている。	天候に合わせた外周散歩や玄関前のベンチでの日光浴などを行っている。また、四季折々の花見や買い物などのドライブも利用者の希望を聞きながら行っている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持され、使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族との相談の上、本人の希望があれば、所持できるようにしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をされ、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を使用している方もおり、好きな時間に自由に家族や知人と連絡が取れるよう操作の補助等の支援を行っている。また、年賀状などの手紙の支援も行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を大切にしたい掲示物や様々な活動の写真などを掲示している。また、光や室温なども利用者に合わせた空間になるように配慮している。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が選択できる声掛けを行い、小さな事柄でも自己決定できるように努めている。また、利用者が望む生活や日々希望されていることを知ることで、一人ひとりに合わせた暮らしになるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『わたしの1日』を定期的に見直し、一人ひとりの趣味や特技などを活かせるケアに努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタル測定・排泄状態や身体の状態を観察を行い、職員間で把握、統一している。また、その日の利用者の体調に合わせたケアに努めている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に『アセスメント』を作成している。様々な情報をもとに支援を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室はプライベートな空間であるため、利用者の思い通りに使ってもらっている。馴染みの家具や置物等があれば居室に置いてもらっている。本人・家族の写真などを飾っている方もおられる。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の感染状況を注視しながら、お墓参りなどの外出を再開している。また、受診後、家族と自宅で過ごすなどもされている。また、施設で開催されるイベントにも積極的に参加していただいている。	感染状況を注視しながら、家族と一緒に外出や外食を行っている。また、施設イベントも再開し積極的に参加を促している。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のできることやできないこと等の情報を職員間で共有し、作業やレクリエーションを楽しく取り組める環境作りに努めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日課の他に体操やレクリエーションに積極的に参加してもらい日々の暮らしに生きがいを持っていたけるような環境作りに努めている。		A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小学校 PTA 主催の清掃活動に参加し、地域の方と清掃作業を行なったりと、コロナ以前のように積極的な参加を考えている。	小学校の PTA 活動や地域活動、地域参加の体操教室にも積極的に参加を行っている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割や一人ひとりの趣向に合った暮らしを大切にし、利用者と職員との信頼関係を構築し、安心して生活できる環境作りに努めている。	一人ひとりの今までの暮らしを大切にし、利用者と職員が協力し合って、豊かな生活が送れるように努めている。	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	